

充血・浮腫と眼圧上昇への対応. 日本医事新報, No.3869 (H10. 6. 20): 96-97, 1998.

- 2) 堀田喜裕, 藤木慶子, 早川むつ子, 藤巻拓郎, 金井 淳, 真島行彦, 森 樹郎, 岡島 修, 村上 晶, 吉井 大, 田上伸子, 松本真幸, 早坂征次, 伊佐敷靖, 大庭紀雄: 我が国のコロイデミア患者におけるREP-1遺伝子の検索. 厚生省特定疾患-網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班-報告書, 63-69, 1998.

耳 鼻 咽 喉 科 学

教 授	渡 辺 行 雄
助 教 授	麻 生 伸
助 教 授	中 川 肇
	(学内併任・医療情報部)
講 師	將 積 日出夫
講 師	浅 井 正 嗣
助 手	安 村 佐都紀
助 手 (前)	木 村 寛
助 手	伏 木 宏 彰
助 手	藤 坂 実千郎
助 手 (前)	島 岳 彦
助 手	清 水 勝 利
助 手	長 崎 正 男
助 手 (前)	大 屋 美 香
助 手 (前)	本 島 ひとみ
技術専門職員	武 田 精 一

◆ 著 書

- 1) 大谷 修, 藤坂実千郎: 扁桃. 「リンパ管」大谷 修他編, 52-56, 西村書店, 新潟, 1997.
- 2) 渡辺行雄, 浅井正嗣, 清水勝利: めまい, 平衡障害のリハビリテーション. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科(増), 70(5): 59-64, 医学書院, 東京, 1998.
- 3) 渡辺行雄, 伊東宗治, 麻生 伸, 將積日出夫: 内リンパ水腫推定検査とメニエール病など内リンパ水腫の治療. 「めまい・慢性中耳炎の診断と治療」, 156-168, 真興交易医書出版部, 東京, 1998.
- 4) 渡辺行雄: 視刺激により回転感覚が発生するのはなぜか. 「耳鼻咽喉科・頭頸部外科クリニカルトレンド」野村恭也他編, 110, 中山書店, 東京, 1998.
- 5) 渡辺行雄: 後迷路性前庭障害をどのように診断するか. 「耳鼻咽喉科・頭頸部外科クリニカルトレンド」野村恭也他編, 116-117, 中山書店, 東京, 1998.
- 6) 渡辺行雄: メニエール病. 「今日の治療指針1999年版」, 868-869, 医学書院, 東京, 1998.
- 7) 渡辺行雄: ENG記録の見方. 「第15回日本平衡神経科学会医師講習会テキスト」, 68-75, 1998.

◆ 原 著

- 1) 中川 肇, 渡辺行雄, Hans-Christian Larsen, Matti Anniko: めまい症例における空間識の認識機能. Equilibrium Res. 57: 69-74, 1998.
- 2) 中川 肇, 渡辺行雄, 大村明彦: 耳鼻咽喉科領域の不随意運動と柿蒂湯. 漢方診療 17: 18-19,

1998.

- 3) 將積日出夫, 渡辺行雄, 赤荻勝一他: 特定地区のメニエール病確実例有病率調査Equilibrium Res 57: 487-490, 1998.
- 4) 清水勝利, 安村佐都紀, 浅井正嗣, 麻生 伸, 渡辺行雄: 発症早期に受診した顔面神経麻痺患者の予後. Facial Nerve Research. 18: 21-23, 1998.
- 5) 島 岳彦, 中川 肇, 渡辺行雄: 平成7・8年に当院で施行されたRAST・MASTの検討. 花粉症研究会会報 9: 21-27, 1998.
- 6) 赤荻勝一, 將積日出夫, 長崎正男他: メニエール病確実例疫学調査例—岐阜飛騨地区と富山県東部地区における調査—. Equilibrium Res 57: 49-53, 1998.
- 7) 十二町真樹子, 麻生 伸, 木村 寛, 山本森弘, 大井秀哉, 渡辺行雄: 突発性難聴の蝸電図所見—低音障害型との比較—. Audiology Jpn 41: 142-146, 1998.

◆ 症例報告

- 1) 長崎正男, 將積日出夫, 中川 肇, 安村佐都紀, 木村 寛, 渡辺行雄: 縦隔に進展した深頸部感染症の3例. 耳鼻咽喉科臨床 91: 727-733, 1998.

◆ 総 説

- 1) 中川 肇, 渡辺行雄: Adie症候群 (Adie's (holmes-Adie's) syndrome). Equilibrium Res. 57: 108, 1998.

◆ 学会報告

- 1) 渡辺行雄, 武田精一: PC-9800シリーズコンピュータからPC-AT互換機へのプログラム移植 (第2報). 第14回耳鼻咽喉科情報処理研究会, 1998, 2, 東京.
- 2) 渡辺行雄, 武田精一, 今村純一: アナログデータサンプリングのためのプログラミング手法. 第14回耳鼻咽喉科情報処理研究会, 1998, 2, 東京.
- 3) 武田精一, 安部英樹, 石田正幸, 渡辺行雄: WindowsNT Serverを用いた教室内LANの構築 (第3報)—Macintoshユーザーから見たWindowsネットワーク環境における現状と問題点—. 第14回耳鼻咽喉科情報処理研究会, 1998, 2, 東京.
- 4) 島 岳彦, 中川 肇, 渡辺行雄: 平成7・8年に当院で施行されたRAST・MASTの検討. 第19回富山免疫アレルギー研究会, 1998, 2, 富山.
- 5) 伏木宏彰, 高田 訓, 小林美幸, 將積日出夫, 渡辺行雄: 視運動刺激により生じる動揺病および自己回転感の要因. 第2回平衡神経学会認知神経科学ワークショップ, 1998, 2, 東京.

- 6) 清水勝利, 將積日出夫, 渡辺行雄, 和田倫之助, 藤坂実千郎: 副鼻腔に発生した横紋筋肉腫の一例. 第16回北陸頭頸部腫瘍研究会, 1998, 4, 金沢.
- 7) 島 岳彦, 中川 肇, 渡辺行雄: 平成9年度耳鼻科学学校検診結果と検診前鼻アレルギーアンケートの比較検討. 第30回日耳鼻富山県地方部会, 1998, 4, 富山.
- 8) 清水勝利, 浅井正嗣, 和田倫之助, 渡辺行雄: 一側前庭障害の代償過程について. 第30回日耳鼻富山県地方部会, 1998, 4, 富山.
- 9) 上田結花里, 木村 寛, 將積日出夫, 渡辺行雄: 後頸部に発生したAggressive fibromatosisの一例. 第30回日耳鼻富山県地方部会, 1998, 4, 富山.
- 10) 十二町真樹子, 麻生 伸, 渡辺行雄, 宮森加甫子: 発見が遅れた軽中等度の小児難聴. 第30回日耳鼻富山県地方部会, 1998, 4, 富山.
- 11) 石田正幸: ネコの水平・垂直性視運動性眼振 (OKN) と視運動性後眼振 (OKAN) の解析. 第30回日耳鼻富山県地方部会, 1998, 4, 富山.
- 12) 高田 訓, 將積日出夫, 渡辺行雄: 当科で経験した皮膚粘膜リーシュマニア症の一例. 第8回北陸耳鼻咽喉科感染症研究会, 1998, 4, 金沢.
- 13) 渡辺行雄, 將積日出夫, 本島ひとみ, 赤荻勝一, 森滋夫: 水平直線加速度刺激が温度性眼振に与える影響について. 第99回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1998, 5, 札幌.
- 14) 麻生 伸, 藤坂実千郎, 大屋美香, 高倉大匡, 渡辺行雄: 一側及び両側高度難聴症例の臨床的特徴. 第99回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1998, 5, 札幌.
- 15) 將積日出夫, 竹森節子, 関要次郎, 渡辺行雄: 強大音によるヒト前庭性頸部誘発筋原性反応—聴神経腫瘍手術症例での検討—. 第99回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1998, 5, 札幌.
- 16) 浅井正嗣, 渡辺行雄, 清水勝利, 山本敏泰: 姿勢制御パターンに対する温度刺激の影響. 第99回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1998, 5, 札幌.
- 17) 安村佐都紀, 張瑞麗, 本島ひとみ: 前庭刺激時の自律神経機能の定量的検討. 第99回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1998, 5, 札幌.
- 18) 高倉大匡, 麻生 伸, 渡辺行雄: 双極子追跡法による聴覚誘発電位の解析. 第99回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1998, 5, 札幌.
- 19) 安部英樹, 長山郁生, 坂下英雄, 宮永路子: 梨状窩瘻の一例. 第9回高岡呉西地区耳鼻咽喉科研究会, 1998, 5, 富山.

- 20) 島 岳彦, 中川 肇, 渡辺行雄:平成9年度耳鼻科学学校検診結果と検診前鼻アレルギーアンケートの比較検討. 第10回花粉症研究会, 1998, 6, 富山.
- 21) 清水勝利, 安村佐都紀, 浅井正嗣, 麻生 伸, 渡辺行雄:発症早期に受診した顔面神経麻痺患者の予後. 第21回日本顔面神経研究会, 1998, 6, 東京.
- 22) 上田結花里, 島 岳彦, 麻生 伸, 渡辺行雄, 前田宜延:耳下腺に発生したmalignant oncocytomaの一例. 第279回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1998, 6, 金沢.
- 23) 石田正幸, 浅井正嗣, 清水勝利, 渡辺行雄:一側前庭障害患者のdisabilityの検討. 第279回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1998, 6, 金沢.
- 24) 十二町真樹子, 中川 肇, 木村 寛, 渡辺行雄, 森繁人:経皮的に刺入した耳下腺内異物の一例第60回耳鼻咽喉科臨床学会, 1998, 6, 岡山
- 25) 藤坂実千郎, 將積日出夫, 上田結花里, 麻生 伸, 渡辺行雄:遅発性内リンパ水腫の疫学・臨床的特徴. 第46回日耳鼻中部地方部会連合会, 1998, 7, 岐阜.
- 26) 中川 肇:臨床検査のシステム化とその有意度. 第46回日耳鼻中部地方連合会シンポジウム, 1998, 7, 岐阜.
- 27) 浅井正嗣, 清水勝利, 渡辺行雄:一側前庭障害例のに対する平衡訓練-重心動揺検査による評価-. 第23回運動療法研究会, 1998, 7, 東京.
- 28) 高倉大匡, 麻生 伸, 渡辺行雄, 西条寿夫, 小野武年:双極子追跡法(SSLB/DT法)による聴覚誘発電位発生源の推定. 第28回日本聴覚医学会ERA研究会, 1998, 7, 東京.
- 29) 浅井正嗣, 清水勝利, 渡辺行雄:ビデオ動作解析システムによる体平衡評価の試み. 第280回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1998, 9, 金沢.
- 30) 島 岳彦, 中川 肇, 渡辺行雄:平成9年度耳鼻科学学校検診結果と検診前鼻アレルギーアンケートの比較検討. 第280回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1998, 9, 金沢.
- 31) Shojaku H., Takemori S., Kawana F., et al.: Clinical significance of sound-evoked cervical myogenic potentials among dizzy patients. 20th Barany Society Meeting, 1998, 9, Wuerzburg, Germany.
- 32) Shojaku H., Mizukoshi K. and Watanabe Y.: Epidemiological Studies on Meniere's Disease in Japan (1975-1998). 20th Barany Society Meeting, 1998, 9, Wuerzburg, Germany.
- 33) 浅井正嗣, 木村 寛, 赤荻勝一, 渡辺行雄, 今村博明:MRSA感染を合併した小児気道狭窄症例の治療経験. 第28回日本耳鼻咽喉科感染症研究会, 1998, 9, 川崎.
- 34) 安村佐都紀, 渡辺行雄, 島 岳彦, 安田恵子, 稲葉博司:耳鼻咽喉科領域の漢方支援システムの構築. 第14回日本耳鼻咽喉科漢方研究会, 1998, 9, 長野.
- 35) 島 岳彦, 中川 肇, 渡辺行雄:平成9年度耳鼻科学学校検診結果と検診前鼻アレルギーアンケートの比較検討. 第37回日本鼻科学会, 1998, 10, 福井.
- 36) 麻生 伸, 藤坂実千郎, 木村 寛, 十二町真樹子, 大屋美香, 渡辺行雄:一側メニエール病の対側蝸電図所見-両側メ病, 遅発性内リンパ水腫との比較-. 第43回日本聴覚医学会, 1998, 10, 東京.
- 37) 藤坂実千郎, 麻生 伸, 木村 寛, 日野美奈子, 渡辺行雄:小脳橋角部腫瘍術後の対側耳聴力変化について. 第43回日本聴覚医学会, 1998, 10, 東京.
- 38) 十二町真樹子, 麻生 伸, 日野美奈子, 渡辺行雄, 中川淳子:発見が遅れた軽中等度小児難聴の特徴. 第43回日本聴覚医学会, 1998, 10, 東京.
- 39) 日野美奈子, 麻生 伸, 藤坂実千郎, 渡辺行雄:突発性難聴に対するステロイド大量投与とPGE1併用療法の効果について.第43回日本聴覚医学会, 1998, 10, 東京.
- 40) 高倉大匡, 麻生 伸, 渡辺行雄, 西条寿夫, 小野武年:双極子追跡法(SSLB/DT法)による聴覚誘発電位発生源の推定(第2報). 第43回日本聴覚医学会, 1998, 10, 東京.
- 41) 麻生 伸, 十二町真樹子, 本島ひとみ, 高倉大匡, 木村 寛, 渡辺行雄:術中蝸電図モニタリングを用いた耳小骨連鎖再建術. 第8回日本耳科学会, 1998, 10, 仙台.
- 42) 將積日出夫, 竹森節子, 関要次郎, 赤荻勝一, 長崎正男, 長崎正男, 渡辺行雄:強大音によるヒト前庭性頸部誘発筋原性反応-記録手技の検討-. 第8回日本耳科学会, 1998, 10, 仙台.
- 43) 將積日出夫, 竹森節子, 長崎正男, 渡辺行雄, 川名ふさ江, 関要次郎:強大音によるヒト頸部誘発筋原性電位の臨床的意義. 第28回日本脳波・筋電図学会, 1998, 11, 神戸.
- 44) 渡辺行雄, 浅井正嗣, 清水勝利, 碓井理恵:重

- 心動揺検査精密分析の臨床的意義. 第57回日本平衡神経科学会, 1998, 11, 岐阜.
- 45) 中川 肇, 渡辺行雄: 冷温交互試験法の再評価 (Vestibular asymmetryを中心に). 第57回日本平衡神経科学会, 1998, 11, 岐阜.
- 46) 將積日出夫, 竹森節子, 関要次郎, 長崎正男, 渡辺行雄: 強大音によるヒト前庭性頸部誘発筋原性電位-内リンパ水腫疾患での検討-. 第57回日本平衡神経科学会, 1998, 11, 岐阜.
- 47) 浅井正嗣, 清水勝利, 渡辺行雄: 身体各部の動きの重心動揺への影響. 第57回日本平衡神経科学会, 1998, 11, 岐阜.
- 48) 安村佐都紀, 渡辺行雄, 將積日出夫, 碓井理恵-前庭自律神経反射による嘔気時の自律神経機能-一心電図RR間隔のスペクトル分析を用いて-. 第57回日本平衡神経科学会, 1998, 11, 岐阜.
- 49) 赤荻勝一, 將積日出夫, 長崎正男, 渡辺行雄: 強大音によるヒト前庭性頸部誘発筋原性電位-僧帽筋での検討-. 第57回日本平衡神経科学会, 1998, 11, 岐阜.
- 50) 伏木宏彰, 渡辺行雄: ウサギ小脳小節の前庭性登上線維入力単純スパイク活動への影響. 第57回日本平衡神経科学会, 1998, 11, 岐阜.
- 51) 清水勝利, 浅井正嗣, 渡辺行雄: 脊髄小脳変性症のリハビリテーションとその評価. 日本平衡神経科学会, 1998, 11, 岐阜.
- 52) 長崎正男, 將積日出夫, 赤荻勝一, 小林健一, 渡辺行雄: ヒト頸部誘発筋原性反応-刺激様式での検討-. 第57回日本平衡神経科学会, 1998, 11, 岐阜.
- 53) 石田正幸, 伏木宏彰, 渡辺行雄: ネコの視運動刺激に対する眼球運動の解析. 第57回日本平衡神経科学会, 1998, 11, 岐阜.
- 54) 上田結花里, 將積日出夫, 麻生 伸, 藤坂実千郎, 中島昭憲, 渡辺行雄: 遅発性内リンパ水腫の疫学・臨床調査. 第57回日本平衡神経科学会, 1998, 11, 岐阜.
- 55) 高田 訓, 伏木宏彰, 渡辺行雄: 視運動性刺激による自己回転感-水平, 垂直刺激による影響の検討-. 第57回日本平衡神経科学会, 1998, 11, 岐阜.
- 56) 安部英樹, 將積日出夫, 上田結花里, 安村佐都紀, 山本森弘, 渡辺行雄: 特定地区のメニエール病確実例実態調査結果. 第57回日本平衡神経科学会, 1998, 11, 岐阜.
- 57) 小林健二, 藤坂実千郎, 將積日出夫, 麻生 伸, 渡辺行雄: 中耳結核の一例. 第31回日耳鼻富山県地方部会, 1998, 11, 富山.
- 58) 安田恵子, 藤坂実千郎, 長崎正男, 中川 肇, 渡辺行雄, 遠藤俊郎, 大屋美香, 大森友明, 安達登志樹: 広範囲な骨欠損を来した蝶形骨洞囊胞の一例. 第31回日耳鼻富山県地方部会, 1998, 11, 富山.
- 59) 五十嵐良和: 高位頸静脈球症の一例. 第47回日耳鼻新潟県地方部会, 1998, 12, 新潟.
- 60) 安村佐都紀, 渡辺行雄, 安田恵子, 稲葉博司: 耳鼻咽喉科領域の漢方支援システムの構築とその応用-適応症について-. 北陸耳鼻咽喉科漢方研究会, 1998, 12, 金沢.
- 61) 上田結花里, 將積日出夫, 安村佐都紀, 渡辺行雄: 呼吸困難を主訴とした傍気管神経鞘腫の一例. 第281回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1998, 12, 金沢.
- 62) 石田正幸 丸山元祥, 浅井正嗣, 渡辺行雄, 桑山直也: 超選択的動脈塞栓術を施行した鼻出血の一例. 第281回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1998, 12, 金沢.
- ◆ その他
- 1) 渡辺行雄, 將積日出夫, 上田結花里, 麻生 伸: 遅発性内リンパ水腫の疫学調査. 「厚生省特定疾患聴覚・平衡機能系調査研究班平成9年度研究報告書」 81-83, 1998.
- 2) 渡辺行雄, 麻生 伸, 將積日出夫, 藤坂実千郎, 木村 寛: 一側高度感音難聴の対側耳聴力. 「厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班平成9年度報告書」 84-86, 1998.
- 3) 渡辺行雄, 清水勝利, 浅井正嗣, 和田倫之助: 一側前庭障害の中枢性代償過程. 「厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班平成9年度報告書」 87-90, 1998.
- 4) 渡辺行雄, 浅井正嗣, 清水勝利: 体平衡検査からみた前庭障害患者のdisability評価-第2報-. 「厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班平成9年度報告書」 91-94, 1998.
- 5) 渡辺行雄, 將積日出夫, 安部英樹, 山本森弘, 安村佐都紀, 信清重典: 特定地区のメニエール病確実例実態調査結果. 「厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班平成9年度報告書」 95-97, 1998.
- 6) 麻生 伸, 藤坂実千郎: 当科における簡単な補聴器フィッティング法. 日耳鼻富山県地方部会第141回集談会, 1998, 5, 富山.
- 7) 渡辺行雄: ENG記録の見方. 第15回日本平衡神経科学会医師講習会, 1998, 7, 山口.
- 8) 渡辺行雄: 身体動揺検査法とその臨床的意義.

- 第22回関西めまい循環不全懇話会, 1998, 7, 大阪.
- 9) 渡辺行雄: Clinical significance of static and dynamic posturography. 98年中国医学会浙江省耳鼻咽喉科分会, 1998, 9, 金華.
- 10) 島 岳彦: 耳鼻咽喉科領域の選択的動脈塞栓術. 日耳鼻富山県地方部会第144回集談会, 1998, 9, 富山.
- 11) 渡辺行雄: メニエール病の疫学的特徴. 第4回東海メニエール病研究会, 1998, 10, 名古屋.
- 12) 麻生 伸: 身体障害者福祉法と補聴器の公的支給制度. 日耳鼻富山県地方部会第1回補聴器研修会, 1998, 11, 富山.
- 13) 渡辺行雄: めまい疾患治療の話題—巻頭言—. 「メディカル・ビューポイント」 19(6), 1998.
- 14) 渡辺行雄: 内リンパ水腫疾患に関する疫学および臨床的研究. 厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班平成10年度総会, 1998, 12, 東京.

泌 尿 器 科 学

教 授	布 施 秀 樹
助教授(前)	秋 元 晋
講 師	岩 崎 雅 志
講 師	奥 村 昌 央
助 手	永 川 修
助 手	藤 城 儀 幸
助 手	水 野 一 郎
助 手	村 石 康 博
助 手	太 田 昌 一 郎
助 手	野 崎 哲 夫
文 部 技 官	池 原 葉 子

◆ 著 書

- 1) 秋元 晋: 腫瘍マーカー, 前立腺癌マーカー: 検査データマニュアル. 総合臨床 47: 1779-1781, 1998.
- 2) 片山 喬, 水野一郎: 勃起補助具election-assisted device. 「性機能障害」 三浦一陽他編, 140-146, 南山堂, 東京, 1998.

◆ 原 著

- 1) Furuya Y., Akimoto S., Yasuda K., and Ito H.: Apoptosis of androgen-independent prostate cell line induced by inhibition of fatty acid synthesis. *Anticancer Res.*, 17: 4589-4593, 1997.
- 2) Akimoto S., Okumura A., and Fuse H.: Relationship between serum levels of interleukin-6, tumor necrosis factor- α and bone turnover markers in prostate cancer patients. *Endocrine Journal*, 45: 183-189, 1998.
- 3) Akakura K., Akimoto S., Furuya Y., and Ito H.: Incidence and characteristics of antiandrogen withdrawal syndrome in prostate cancer after treatment with chlormadinone acetate. *Eur. Urol.*, 33: 567-571, 1998.
- 4) Akimoto S., Inomiya H., Furuya Y., Akakura K., and Ito H.: Prognostic value of the serum levels of bone formation and bone resorption markers in prostate cancer patients with bone metastasis. *Eur. Urol.*, 34: 142-147, 1998.
- 5) Akimoto S., Ichikawa T., and Ito H.: Relationship of prostate-specific antigen levels to prostate volume and age in mass screening subjects. *Urol. Int.*, 60: 216-219, 1998.